

白老町町内会連合会の「協働のまちづくり」の歩み

白老町町内会連合会は平成元年に白老町がIC運動を始めたのを切っ掛けに、行政と町民が「協働」し、まちづくりを推進するための考え方をまとめました。

1 背景

- | | |
|---------|--|
| 自治体の変化 | <ul style="list-style-type: none">・ 地方分権の推進・ 行財政の衰退・ 市町村合併・ 三位一体の改革・ 道州制の活用 |
| 社会現象の変革 | <ul style="list-style-type: none">・ 少子高齢化の進行・ 高齢者福祉の削減・ 格差社会の増大・ 競争社会の増大・ 個別主義の進行・ 無縁社会の増大・ グローバル化社会 |

2 住民意識の変化

- | | |
|----------|---|
| 行政と住民の関係 | <ul style="list-style-type: none">・ 行政は保護者に対し住民は被保護者・ 行政は住民サービスに対し義務と責任を負う・ 住民はサービスを受ける権利を有する・ 住民の意見等で行政案が変わることはない |
| 住民運台 | <ul style="list-style-type: none">・ 住民と行政は対等の立場で・ 住民の反対運動・ 住民運動によって行政の計画に変更はない |
| 住民と行政の協働 | <ul style="list-style-type: none">・ 住民と行政が対等の立場で、協力体制をとる・ 住民サービスの責任は双方にある・ 行政施策に住民は最初から参画する・ 情報の共有化の促進 |

3 協働のまちづくり

- | | | |
|--------|----------------|--|
| 協働の3本柱 | ・ 町民と行政の情報の共有化 | 協働のまちづくり（新しい公共）
町民と行政が力を合わせ、役割と責任を持つ地域社会の実現 |
| | ・ 町民参加の促進 | |
| | ・ 町民活動野の促進 | |